

# シンポジウム どう止める、地球温暖化

—環境技術立国・ニッポンの挑戦—

日時

2008年6月6日(金)

午後1時30分～午後3時(午後1時開場)

場所

千代田放送会館

入場  
無料

地球温暖化に対する関心が高まる中、今年は各国の温室効果ガス排出数量目標を定めた京都議定書の目標年次(2008～2012年)の最初の年です。

また、7月には洞爺湖サミットも開かれ、温暖化防止にむけて、日本が議長国として主導的な役割を果たすことが期待されています。

現在、CO<sub>2</sub>排出削減に関しては産業界に注目が集まっていますが、産業界における日本の環境技術の進歩はめざましく、世界に貢献できる水準を誇っています。

当シンポジウムでは、地球温暖化防止の観点から、産業界を中心にCO<sub>2</sub>排出削減をどうすすめるかに焦点を当て、CO<sub>2</sub>排出削減のための技術や工夫に迫るとともに、排出量取引の功罪についても議論し、“われわれにできる地球温暖化防止”について展望します。

また、日本の環境保全技術が国際社会でどのように貢献できるかを探ります。

## パネリスト



もちづきはるふみ  
**望月晴文** 資源エネルギー庁長官

1973年、京都大学法学部卒業後、通商産業省入省。国会担当の大臣官房参事官、大臣官房審議官などを歴任。原子力安全・保安院次長、中小企業庁長官などを経て、2006年現職。



さわ あきひろ  
**澤 昭裕** 東京大学先端科学技術研究センター教授

1981年、一橋大学経済学部卒業後、通商産業省入省。宮城県商工労働部次長、工業技術院人事課長、経済産業省産業技術環境局環境政策課長、資源エネルギー庁資源燃焼部政策課長を経て、2004年、現職に至る。



もりもとよしひさ  
**森本宜久** 電気事業連合会副会長

1967年、東京大学法学部卒業後、東京電力株式会社入社。2001年、取締役エネルギー営業部長、その後、常務取締役。2004年、取締役副社長を経て、現在に至る。



せきぐちひろゆき  
**関口博之** NHK「経済羅針盤」キャスター

一橋大学法学部卒業後、1979年、日本放送協会入局。富山放送局記者をスタートに、通産省などクラブキャップを務め、1985年、報道局「ニュースセンター9時」担当。2001年、放送総局解説委員などを経て、現職。



あきばえつこ  
**秋庭悦子** 消費生活アドバイザー

1971年、早稲田大学商学部卒業。1989年、消費生活アドバイザー資格取得。現在、NPO法人あすかエネルギーフォーラム理事長など。総合資源エネルギー調査会原子力部会、新エネルギー部会などの委員も務め、消費者の視点で、エネルギー・環境問題に取り組んでいる。



せきさわ くみ  
**藤沢久美** シンクタンク・ソフィアバンク副代表

1989年、大阪市立大学卒業後、国内外の投資運用会社に勤務。1996年、日本初の投資信託評価会社アイフィスを起業。2000年、シンクタンク・ソフィアバンクの設立に参画、2004年に副代表となる。政府の各種委員、経済産業省などの研究会委員も務める。

問い合わせ・申し込み先

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-33-5-409

「シンポジウム どう止める、地球温暖化2008」実行委員会事務局宛

FAX 03-5414-6578 インターネット <http://www.chikyu-kankyo.net/>

締め切り

2008年6月3日(火) (先着200名様に後日参加証を送付します)

主催◆「シンポジウム どう止める、地球温暖化2008」実行委員会

協力◆NHKインターナショナル NHKエデュケーショナル